

平成20年度事業の紹介④産業部

活力ある産業のまち

第1次産業の活力と

自然環境の保全を



組合員総出の耕起作業（芹田営農組合・大豆は場）

農林水産課

○農政係

○集落営農推進係

米価低迷や後継者不足など、農業を取り巻く環境は厳しい状況です。市では、農村や農地の持つ多面的な機能を守りながら、農業を維持・発展させ、消費者に安全な農産物を届け続けることができるよう、施策を行います。

農業の担い手育成と産地化

意欲ある一定規模以上の担い手の所得安定を図るため、米の販売価格が下落した際に価格補てん等を行う国の施策「経営所得安定対策」が昨年スタートしました。これをきっかけに、集落ぐみで水稻や大豆の共同作

農村地域では、過疎化、高齢化、非農家との混住化が進行しています。地域の共同活動が困難になり、耕作放棄地が増加することで、農村本来の多面的機能（農産物生産、自然環境・生態系の保全、心の癒し、地域の伝統・文化継承など）が低下しています。生産効率を最重視す

農村・農地の環境保全

拡大しつつある耕作放棄地に菜の花を栽培し、収穫、精製した油を農業用機械で活用する（食用油→使用済みの食用油→BDF燃料）実証事業「菜の花プロジェクト」が始まりました。農地の保全を目的にしながら、地域内で資源を繰り返し活用する「資源循環型農業」を目指します。地球温暖化防止のメッセージ發信にもつなげていきます。

菜の花プロジェクト始動

業を行う「集落営農組織」が市内27組織誕生しました。市では同組織を本市農業の重要な働き手と位置付け、さらに発展的な組織へと誘導するための各種施策を行っています。

その一つとして、農業が夢のある働き場所となり維持・発展することを目指して、牽引役となるモデル的な組織を選定・育成し、複合作物（野菜等）の拡大や経理手法等の重点支援を行う「発展モデル組織育成事業」を実施します。また、付加価値の高い高品質米生産を行う取り組みや、転作田等を活用して作物の産地化に積極的に取り組む担い手、女性・直売・加工品開発のグループ等、特色ある農産物の産地化を推進しながら多様な担い手を育成します。

農村整備や管理体制にも一因しますが、周辺の生態系を破壊したり、農村環境の悪化が危惧されています。農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給や多面的機能の発揮の基盤となる「社会共通資本」です。この適切な保全管理を行うとともに、生態系保全、水質保全、景観形成等の農村環境向上させる地域共同の効果の高い取り組みを促進するため、「農地・水・環境保全向上対策事業」を市内25組織が実施しています。

中山間地域でも同様の趣旨で30集落が「中山間地域直接支払交付金事業」を実施しています。

○林務水産係 森林整備の充実

市が管理する市有林・市行分収林・旧緑資源機構分収林等は補助事業等を活用し、適正な保育に努めます。また、民有林については、森林整備を促進させるため、市のかさ上げ補助を行って支援します。

松くい虫防除

昭和57年から続く松くい虫被害は、減少傾向にあるもののいまだに被害が発生している状況です。引き続き被害を最小限にうえ伐倒しますのでご連絡ください。

ナラ枯れ被害

一昨年に続き昨年も「ナラ枯れ集団枯損被害」が小砂川地内三崎公園で発見されました。5月上旬になつても「ミズナラ」や「カシワ」の新芽が出なかつたり、8月中旬から10月上旬の期間に、樹幹部から木くずが出



整備された山林は多面的機能が發揮されます

ているようなナラ類の木を発見した場合は、早期防除のためにご連絡ください。

森林整備地域活動 支援交付金

林業の採算性悪化による林業生産活動の停滞や、森林所有者の高齢化等を背景に、間伐等の森林施設が十分に行われない人材が多くなり、森林の有する多面的機能（水資源の涵養、治山、温暖化防止等）の発揮に支障をきたしている状況です。これらを解消する目的で、作業道の管理や境界の明確化など

の地域活動を支援するために、1haあたり5,000円を交付しています。

(3) 平沢漁港

昨年度に統いて、東防波堤を15m延長します。



あつあつのハタハタ汁を堪能！

漁港整備（県事業）

(1) 金浦漁港 漁港周辺の高潮対策として沖防波堤20mを延長します。
漁港分港（小泊）の高潮対策として防波堤9・5mを1箇所設置し、道路側に護岸を90m設置します。（左図参照）

(2) 象潟漁港 平成19年度の縁越事業で象潟漁港分港（小泊）の高潮対策として防波堤9・5mを1箇所設置し、道路側に護岸を90m設置します。（左図参照）

つくり育てる漁業の推進

漁業経営の安定対策

アワビなどの増殖場の造成を図ります。同時に、アワビ等の種苗放流により「つくり育てる」資源管理型漁業を推進します。

漁業経営の安定対策

漁業経営の安定を図るために基金してもらうため、12月中旬にハタハタ祭りを開催して、漁業の活性化に努めます。

◆問合先◆

農林水産課 38-4303